



【塾長】ロバスト経営研究所所長(コーセル㈱創業者)

Hisakazu Hisaoka 氏

二度の倒産危機を切り抜け、人づくり、モノづくりを徹底しながら外部環境の激変に即応できる「ロバスト経営」を実践。コーセル㈱を、情報通信機器や医療用機器等のスイッチング電源のトップ企業に育て、東証一部に上場。方針展開の末端までの徹底で、人づくり組織づくりを見事に実現。組織能力の優位性構築の成果は、20年連続経常利益率20%以上に表れる。



【講師】QCサークル上級指導士

Yuki Takahashi 氏

㈱不二越定年退職後、富山県経営者協会の専任講師・QCサークル本部認定講師を歴任し、多くの企業はじめ職業能力開発大学校等でTQM、方針管理、CS、現場の管理・改善、儲かる5Sとムダ取り、小集団活動等、コンサルティング活動を通じて、実践的なTQM、QCサークル活動(小集団活動)の普及・発展に努めている。

【研修実施時間】全日程 13:00~18:00

開講式 第1回	2024年 7月11日(木)	10:00~開講式を行います(昼食代実費)
第2回	2024年 8月06日(火)	
第3回	2024年 9月10日(火)	
第4回	2024年 10月08日(火)	
第5回	2024年 11月05日(火)	
第6回	2024年 12月03日(火)	
第7回	2025年 1月14日(火)	
第8回	2025年 2月18日(火)	
閉講式	2025年 2月20日(木)	18:00~閉講式・懇親会を行います

令和6年度

とやま経営実践塾

【実践座学コース】20期生募集

本講座は、講師の豊富な知識と経験が現役経営者に継承されることで経営能力の向上を支援し、異業種の参加者のネットワーク構築の機会を提供することを目的としています。

【主催】富山市
【対象】市内及び富山広域連携中枢都市圏域内(滑川市、立山町、上市町、舟橋村)の中小企業の経営者、または経営に携わる幹部社員
(その他富山市内に営業所を有する市外企業も対象)
【講師】ロバスト経営研究所所長(コーセル㈱創業者) Hisakazu Hisaoka 氏
QCサークル上級指導士 Yuki Takahashi 氏
【受講料】50,000円(消費税込 教材費・初回昼食費別) ※全8回コース
【定員】14名
【会場】コーセル㈱本社ミーティングルーム(上赤江町1丁目)
【申込方法】別紙「参加申込書」をFAXにて送信下さい。
【申込期限】2024年6月11日(火)
【申込先】運営委託先:㈱人材情報センター
TEL 076-493-4447 FAX 076-493-4448

経営に必要な以下の2テーマを通して、経営課題解決のための糸口を見つけ、実践的に学習します。

- ①書籍から学ぶ人間学 ～言志四録・百の箴言～
- ②職場の問題をQCの視点から解決する方法を学ぶ

* 講師と近い距離でのグループ討議を中心に、課題や疑問点を解消していきます。



【受講生の感想】

【製造(80名/若手経営者)】

受講前は、設備投資により将来への展望が拓けるか分からず悩んでいた。参加を機に、設備投資は売上比5%が基準で、それ以上は過剰投資となり、それ未満は消極的投資であると、肝に銘じることができた。その他、異業種メンバーの経営に対する考え方や悩みが聞けて刺激になった。

【製造(40名/ベテラン経営者)】

業績が悪化し、藁をもつかむ思いで塾に参加した。売上移動平均など、データから改善点を明確にして利益を出していく方法や、新製品開発は業績好調時に余裕をもった気持ちで取り組むこと等を学んだ。今後は従業員の能力を信じて成長させることと、現場の知恵を活かすことで、悩みが氷解していきそう。

【販売(20名/若手取締役)】

人材育成の重要性は認識しているものの何から着手してよいか悩み参加した。社員のモチベーションを上げる仕組みや会計など、知識を吸収する機会をいただけたと同時に、具体的なエピソードを交えた経営者としての心構えも学ぶことができ、人材育成へ取り掛かる道しるべとなった。

別コース
とやま経営実践塾【経営座学コース全8回】
～内容～

- ①書籍から学ぶ人間学 ～言志四録・百の箴言～
- ②経営者のための会計の基礎・応用・実務

第1回

書籍から学ぶ人間学①

指導者のバイブルとも呼ばれた佐藤一斎の著書『言志四録』を分かりやすく解説しディスカッションにより理解を深める。

問題解決①:概要,見方考え方

コース概要説明と問題を発見する力と解決する力について、合理的・科学的・効果的な進め方を学ぶ。「問題」と「問題点」、「現象」と「原因」、QCの見方や考え方等々について学ぶ。

第2回

書籍から学ぶ人間学②

指導者のバイブルとも呼ばれた佐藤一斎の著書『言志四録』を分かりやすく解説しディスカッションにより理解を深める。

問題解決②:問題の捉え方

改善活動の起点は「問題」を発見することであり、「問題」を客観的に正しく捉えることである。参加者自身の問題について、事実をもとに、客観的な「問題」の捉え方を学ぶ。

第3回

書籍から学ぶ人間学③

指導者のバイブルとも呼ばれた佐藤一斎の著書『言志四録』を分かりやすく解説しディスカッションにより理解を深める。

問題解決③:問題解決の手順

事例研究をもとに、改善活動の手順・手法を学ぶ。改善の手順が求めているものは何か。そのために持っているプロセスや、原因追及・対策への進め方。などから問題解決と人材育成の関係などを学ぶ。

第4回

書籍から学ぶ人間学④

指導者のバイブルとも呼ばれた佐藤一斎の著書『言志四録』を分かりやすく解説しディスカッションにより理解を深める。

問題解決④:現状把握(1)

問題解決の要は「現状把握」にあることをよく心得て事実・データで示すことが肝要。何を調べるか、どのようにグラフ化するか、「三現」で得られたもの、層別と分析の仕方から「問題点」を顕在化する。

第5回

書籍から学ぶ人間学⑤

船塾長が経営で迷いに遭遇したときの羅針盤として書き留めておいた格言集『百の箴言』を用いてディスカッションし、人間力を向上させるヒントを解説する。

問題解決⑤:現状把握(2)

現状把握は軽視されがちであるが、そのプロセスが重要。現状把握は何を調べるか、3つの見方で職場の人たちと一緒に検討することを学ぶ。全員参加は人材育成のポイントにもなる。

第6回

書籍から学ぶ人間学⑥

船塾長が経営で迷いに遭遇したときの羅針盤として書き留めておいた格言集『百の箴言』を用いてディスカッションし、人間力を向上させるヒントを解説する。

問題解決⑥:要因分析(1)

現状把握から得られた問題点に対し、その原因と考えられる要因を洗い出し追究する。真の原因は検証によって確認できることを学ぶ。「真の原因」と「根本原因」で再発を防止する。

第7回

書籍から学ぶ人間学⑥

船塾長が経営で迷いに遭遇したときの羅針盤として書き留めておいた格言集『百の箴言』を用いてディスカッションし、人間力を向上させるヒントを解説する。

問題解決⑥:要因分析(2)

現状把握から得られた問題点に対し、その原因と考えられる要因を洗い出し追究する。真の原因は検証によって確認できることを学ぶ。「真の原因」と「根本原因」で再発を防止する。

第8回

書籍から学ぶ人間学⑧

総まとめ。
人間学をテーマに、個々人の質問に対して塾長が個別丁寧に解答する。

問題解決⑧:発表

総まとめ
各自の問題解決についての取組みを発表し、問題解決の手順やポイントについて意見交換し、相互啓発を行う。